

口は健康のもと Vol.87

合わなくなった入れ歯 短時間で修理が可能

入れ歯を長期に使用していると顎の骨が萎縮して小さくなったり、粘膜が薄くなったりして、ピッタリと合わなくなります。

そのままに入れ歯を使用し続けると、粘膜は変形して異常な状態になります。入れ歯が強く当たっているところの顎の骨は局所的に大きく吸収し、入れ歯がガタついてきます。

そうすると、入れ歯を支えている粘膜に傷が付き、痛みが出てきます。また入れ歯の咬む面が摩耗して、食物を上手に咬み切ることができなくなります。これでは入れ歯で快適な生活を営むことができなくなります。

そんな入れ歯を使っている方におすすめします。使用中の入れ歯を修理してみませんか。入れ歯に新しい材料を裏打ちして粘膜にピッタリと合わせて、新品と同様な状態にすることができるのです。

粘膜が異常になっているときには、粘膜の形態を正常に戻してから裏打ちをします。人工の歯が摩耗しているときは、新しい材料を追加して、咬む面を元通りの形に直します。

このような修理は多くの場合、1回の治療で、それも短時間で終わることができます。短期間で悩みが解決しますので、入れ歯でお悩みの方はお近くの歯科医院に相談してください。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 小林 康二